

横浜港の内航航路が更に拡充 YCL 社の東北・北海道航路が週 1 便から 2 便へ

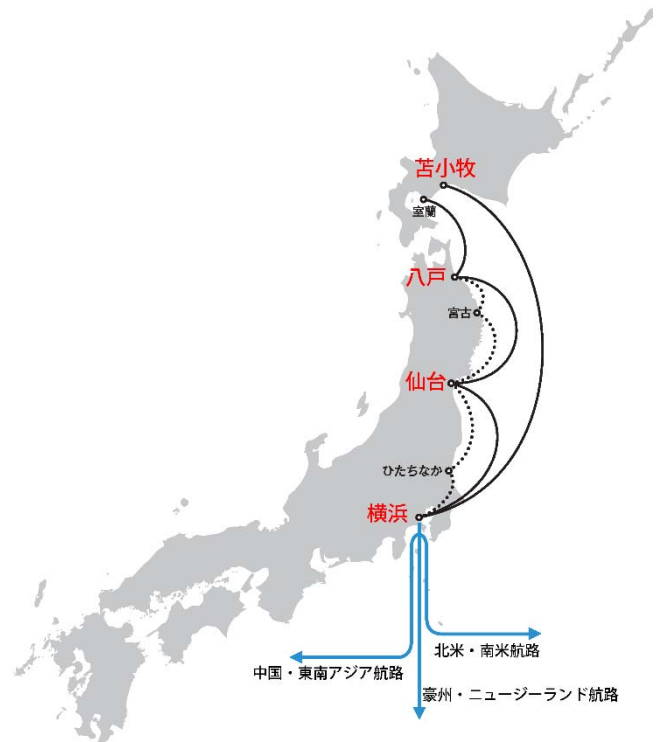
横浜川崎国際港湾株式会社（YKIP）は、国際コンテナ戦略港湾政策の実現のため、基幹航路の維持・拡大など国際競争力強化に向けた取組を進めています。

こうした誘致活動を行っていく中で、本年6月1日より、「株式会社横浜コンテナライン」（YCL）社が運航する東北・北海道地域と横浜港を結ぶ内航サービスに新たな船舶を投入し、同サービスは週2便に拡充されることとなりました。

同社の運航体制強化により、当社が推進する東日本を中心とした国内広域からの集貨ネットワークが更に強化されることとなります。

東北・北海道-横浜航路の概要

投入船舶	オリオン (749G/T 型・156TEU 積)
	はるか (499G/T 型・72TEU 積)
運航船社	株式会社横浜コンテナライン
寄港地	横浜ー苫小牧ー八戸ー仙台
運航開始	平成29年6月1日（予定）
問合せ先	横浜市中区山下町195番地 ラトゥールクオーファン3F TEL 045-227-8863



※サービス詳細に関しては、上記までお問い合わせください。

お問合せ先	
横浜川崎国際港湾(株)営業課長 鹿島 聖峰	Tel:045-680-6583 FAX:045-680-6637

※なお、本件は、YCL 社も裏面のとおり同時に記者発表しております。

平成 29 年 5 月吉日

お客様各位

株式会社 横浜コンテナライン

内航フィダーサービス増配船のお知らせ

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社(株)横浜コンテナラインは、近年の外航船社間の大幅な改変、統合に伴い
運航船舶の超大型化、基幹航路船の本邦への追加寄港の決定、更に地球温暖化対策の一
環として、国内間の物流輸送形態の大幅なシフトチェンジが行われ、今後益々海の駅で
ある各内港間の物流輸送は増大し内航フィダーのスペース不足が懸念されています。
付きましては、今後お客様に対して安定的な貨物輸送が提供できる様、横浜港を基点と
した内航フィダーサービスの充実を図る為、現行運航船（オリオン）に加えて内航フィ
ダーを増配船する事と致しました。
お客様に於かれましては、現行サービスに加えた増配船安定サービスをご利用頂ける様
宜しくお願い致します。

記

	<u>現行サービス</u>	<u>増配船</u>
船名	オリオン	はるか
船型	749 総トン 156 個積み	499 総トン 72 個積
運航サービス	横浜、苫小牧、八戸、仙台	同左

運航開始 : 平成 29 年 6 月 1 日
連絡先 : (株)横浜コンテナライン
TEL 045-227-8863

以上